



## 2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年8月9日

上場会社名 株式会社シード

上場取引所 東

コード番号 7743 URL <https://www.seed.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 浦壁 昌広

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 専務執行役員 管理本部長 (氏名) 杉山 哲也 TEL 03-3813-1111

四半期報告書提出予定日 2023年8月9日

配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第1四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	7,952	5.1	650	84.6	709	73.2	426	130.7
2023年3月期第1四半期	7,569	12.4	352	4.5	409	25.4	184	27.7

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 420百万円 (△4.1%) 2023年3月期第1四半期 438百万円 (106.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	17.03	-
2023年3月期第1四半期	7.38	-

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第1四半期	41,258	12,269	29.1	478.91
2023年3月期	40,011	12,145	29.6	473.83

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 11,988百万円 2023年3月期 11,861百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	-	0.00	-	12.00	12.00
2024年3月期	-	-	-	-	-
2024年3月期（予想）	-	0.00	-	12.00	12.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	33,000	7.9	1,700	169.9	1,650	197.7	700	-	27.96

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 10「2. 連結財務諸表及び主な注記(4) 連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期1Q	25,033,422株	2023年3月期	25,033,422株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	75株	2023年3月期	32株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期1Q	25,033,362株	2023年3月期1Q	25,033,392株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(第1四半期決算説明会内容の入手方法)

当社は、2023年8月21日(月)に機関投資家・アナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会の動画及び資料につきましては、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	10
(セグメント情報等) .....	10
(重要な後発事象) .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの5類感染症への変更による行動制限解除により経済活動の正常化が大きく進んでおります。その一方で、ロシアによるウクライナ侵攻を起因とするエネルギー、原材料価格の高止まりや、為替の円安による物価上昇等と、最低賃金の初の1,000円台への改定に表象される所得向上が錯綜し、個人消費の動向が定まらない等、不透明な状況から脱しきれずにいる状態と認識していません。

国内のコンタクトレンズ市場におきましては、行動制限解除による外出機会の増加により需要が回復しています。然しながら、世界的に人手不足や過去の半導体不足に起因する設備更新の遅れ、国際物流網遅延の問題に端を発し、海外メーカーを中心に、日本市場への商品供給不足が発生しております。今後も市場は、1日使い捨てタイプへのシフトが依然続いていることや「近視」の低年齢化が世界的な社会問題として注目される中で、オルソケラトロジーレンズの普及、ミドルエイジ以降の遠近両用及び乱視用コンタクトレンズ等の伸長により、緩やかながらも拡大を続けていくと推測されます。

海外のコンタクトレンズ市場におきましては、国や地域により差異はあるものの、アフターコロナの需要拡大と近視人口の増加を背景に回復傾向を示しており、今後も市場の着実な拡大が見込まれております。

このような状況の下、当社グループでは、3ヶ年中期経営計画（2021年4月～2024年3月）の最終年度である2024年3月期も引き続き『「見える」に新たな価値を』を実現していくために、「市場競争力の強化・収益力の強化」、「信頼されるモノづくり」、「SDGsの推進」、「安定した株主還元」を最重要施策として、日本国内での安定した成長を軸に、海外各国での需要回復を積極的に取り込むことにより海外事業規模の拡大と収益基盤の強化を進めております。その中で、現在当社の乱視用コンタクトレンズの一部度数におきましては需要の高まりを受けて供給量を上回る注文を受けておりますが、安定した商品供給と新商品の開発・生産を含む生産力全体の体質強化に注力中です。主力生産拠点である鴻巣研究所において生産設備の増設を含めた、生産増強を行う予定であり、2024年3月期には老朽化した1号棟の生産設備の更新および3号棟のライン新規増設により月間最大計画枚数を現在の5,300万枚から5,800万枚へ、2025年3月期には2号棟の延伸（別館新設）により月間最大計画枚数を5,800万枚から6,400万枚へと引き上げることを計画しております。なお、以上を含む一連の設備投資は、2050年カーボンニュートラルの実現を加速させるため、製品の生産設備や生産工程等の脱炭素化と付加価値向上を両立する設備の導入に関する投資計画であるとしてエネルギー利用環境負荷低減事業適応計画（カーボンニュートラル投資促進税制）の認定を取得しております。

商品戦略としては、主力商品である純国産の「ワンデーピュアシリーズ」に対する需要の高まりを背景に、乱視、遠近両用コンタクトレンズといったスペシャリティレンズの需要を伸ばすと同時に、2023年3月期に市場に投入したシリコンハイドロゲルレンズの2商品「シード1daySilfa（シルファ）」、「シードAirGrade 1day UV W-Moisture（エアグレード ワンデー UV ダブルモイスタチャー）」並びにカラーコンタクトレンズ「Bellme（ベルミー）」により更なる需要創出を目指して販売を行っております。

これらの事業活動の結果、当第1四半期連結累計期間において、主に国内のコンタクトレンズ需要が順調に拡大を示したため、売上高は7,952百万円（前年同期比5.1%増）となりました。

利益につきましても、売上高の増加による規模の経済が実現したことと、前年度からの価格の改定も奏功したことにより売上総利益が増加しました。また、海外子会社も業績改善する拠点が増えだしたことで、営業利益650百万円（前年同期比84.6%増）、経常利益709百万円（前年同期比73.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は426百万円（前年同期比130.7%増）となりました。

セグメントの経営成績は次のとおりであります。

#### (コンタクトレンズ・ケア用品)

国内のコンタクトレンズにつきましては、引き続き純国産の「ワンデーピュアシリーズ」を中心とし、2つの異なるベクトルを持つシリコンハイドロゲルレンズや特に市場の伸長が最も見込まれる遠近両用コンタクトレンズ等の高付加価値商品の拡販に注力してまいりました。「ワンデーピュアシリーズ」は需要増により前年同期比8.2%増加いたしました。就寝時に装着し日中裸眼で視力矯正効果が得られるオルソケラトロジーレンズにつきましては、前年同期比13.0%と大きく伸長いたしました。サークル・カラーコンタクトレンズにおきましても、1日使い捨てカラーコンタクトレンズ「Bellme（ベルミー）」の取扱店舗増加が影響し、全体として前年同期比2.3%増となりました。

ケア用品につきましては、オルソケラトロジーレンズ関連のケア用品は増加したものの、コンタクトレンズの使い捨てタイプへのシフト等の影響により、前年同期比2.3%減となりました。

海外へのコンタクトレンズ輸出等につきましては、アジア・欧州共に回復傾向が見られ前年同期比8.7%増となりました。

その結果、セグメント全体の売上高は7,921百万円（前年同期比5.1%増）、営業利益925百万円（前年同期比48.6%増）となりました。

（その他）

その他につきましては、眼内レンズの売上が減少した結果、売上高は31百万円（前年同期比2.3%減）、営業損失は2百万円（前年同期営業損失5百万円）となりました。

（2）財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における資産の残高は、41,258百万円となり、前連結会計年度末から1,247百万円増加いたしました。主な要因としては、鴻巣研究所での新規設備の導入により有形固定資産が増加したことや売上増加に伴い現金及び預金が増加したことが挙げられます。

負債につきましては、28,988百万円となり、前連結会計年度末から1,122百万円増加しております。主な要因としては新規設備導入によるリース債務の増加が挙げられます。

純資産につきましては、12,269百万円となり、前連結会計年度末から124百万円増加しております。主な要因としては、利益剰余金が増加したことが挙げられます。

②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、5,171百万円となりました。当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果増加した資金は、2,000百万円（前年同期768百万円の収入）となりました。税金等調整前四半期純利益の計上686百万円や減価償却費の計上613百万円により資金が増加しております。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果減少した資金は、1,326百万円（前年同期353百万円の支出）となりました。これは主に、鴻巣研究所の新規設備導入等に伴う有形固定資産の取得による支出1,329百万円が要因となっています。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果減少した資金は、434百万円（前年同期808百万円の支出）となりました。資金減少の主な要因は長期借入金の返済577百万円や配当金の支払い294百万円です。一方、資金増加の主な要因は短期借入金の純増加額668百万円です。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の業績予想につきましては、当第1四半期は概ね計画に沿って推移をしており、2023年5月12日の「2023年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、当社が現時点において入手可能な情報に基づき判断したものであり、今後のさまざまな要因により、異なる結果となる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,938,720	5,171,418
受取手形及び売掛金	4,288,385	4,204,091
商品及び製品	5,476,995	5,174,012
仕掛品	406,387	417,613
原材料及び貯蔵品	1,260,708	1,282,325
前渡金	1,433	30,059
未収入金	904,454	1,063,623
その他	367,206	480,390
貸倒引当金	△25,238	△31,000
流動資産合計	17,619,052	17,792,533
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	9,831,421	9,698,399
機械装置及び運搬具(純額)	1,096,021	1,110,010
土地	4,504,320	4,506,676
リース資産(純額)	2,961,669	3,687,533
建設仮勘定	114,859	784,834
その他(純額)	664,717	635,184
有形固定資産合計	19,173,009	20,422,639
無形固定資産		
のれん	479,577	465,998
その他	723,046	694,727
無形固定資産合計	1,202,624	1,160,725
投資その他の資産		
投資有価証券	752,537	718,590
その他	1,264,077	1,163,926
投資その他の資産合計	2,016,615	1,882,517
固定資産合計	22,392,249	23,465,882
資産合計	40,011,301	41,258,416

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	687,822	519,648
短期借入金	12,608,963	13,230,088
リース債務	1,025,498	1,315,024
未払金	1,770,594	2,148,194
未払法人税等	9,060	247,674
賞与引当金	412,440	211,747
設備関係支払手形	81,133	95,991
製品保証引当金	64,350	69,270
その他	663,916	620,338
流動負債合計	17,323,780	18,457,975
固定負債		
長期借入金	5,040,562	4,505,920
リース債務	2,215,992	2,716,476
退職給付に係る負債	3,090,845	3,149,445
資産除去債務	39,774	39,774
その他	154,848	118,890
固定負債合計	10,542,024	10,530,507
負債合計	27,865,805	28,988,483
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,841,280	1,841,280
資本剰余金	3,103,744	3,103,744
利益剰余金	6,470,000	6,595,936
自己株式	△24	△48
株主資本合計	11,415,000	11,540,912
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	239,278	230,864
繰延ヘッジ損益	△2,452	20,754
為替換算調整勘定	150,327	192,669
退職給付に係る調整累計額	59,392	3,530
その他の包括利益累計額合計	446,545	447,819
非支配株主持分	283,950	281,201
純資産合計	12,145,496	12,269,933
負債純資産合計	40,011,301	41,258,416

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	7,569,639	7,952,844
売上原価	4,646,101	4,480,403
売上総利益	2,923,538	3,472,441
販売費及び一般管理費	2,571,211	2,822,050
営業利益	352,326	650,390
営業外収益		
受取利息	377	609
受取配当金	2,700	3,903
受取賃貸料	7,839	7,839
受取保険金	—	336
為替差益	73,083	76,654
助成金収入	6,090	7,847
売電収入	12,448	13,810
その他	8,466	8,995
営業外収益合計	111,006	119,996
営業外費用		
支払利息	43,004	46,790
その他	10,594	14,100
営業外費用合計	53,598	60,891
経常利益	409,734	709,495
特別利益		
固定資産売却益	48	—
特別利益合計	48	—
特別損失		
固定資産除却損	1,597	2
投資有価証券評価損	—	1,647
関係会社株式評価損	—	21,399
特別損失合計	1,597	23,049
税金等調整前四半期純利益	408,186	686,445
法人税、住民税及び事業税	55,221	212,344
法人税等調整額	168,671	55,332
法人税等合計	223,893	267,676
四半期純利益	184,292	418,769
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△545	△7,567
親会社株主に帰属する四半期純利益	184,838	426,336



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	184,292	418,769
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	24,726	△8,413
繰延ヘッジ損益	147,235	23,207
為替換算調整勘定	78,079	42,342
退職給付に係る調整額	3,856	△55,861
その他の包括利益合計	253,898	1,273
四半期包括利益	438,191	420,043
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	428,811	422,792
非支配株主に係る四半期包括利益	9,380	△2,749

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	408,186	686,445
減価償却費	631,077	613,255
のれん償却額	28,080	15,525
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	6,186	7,331
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	4,799	△16,564
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△151,033	△200,692
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	15,804	4,920
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△119,337	—
受取利息及び受取配当金	△3,077	△4,512
受取保険金	—	△336
支払利息	43,004	46,790
有価証券及び投資有価証券評価損益 (△は益)	—	1,647
関係会社株式評価損	—	21,399
固定資産売却損益 (△は益)	△48	—
固定資産除却損	1,597	2
売上債権の増減額 (△は増加)	543,657	96,425
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△785,682	300,415
前渡金の増減額 (△は増加)	156,219	△28,625
未収入金の増減額 (△は増加)	△159,879	△170,869
仕入債務の増減額 (△は減少)	△85,228	△171,180
未払金の増減額 (△は減少)	521,104	923,062
未払消費税等の増減額 (△は減少)	8,786	△126,378
その他	△23,842	58,559
小計	1,040,373	2,056,620
利息及び配当金の受取額	3,053	4,512
利息の支払額	△43,265	△44,865
保険金の受取額	—	336
法人税等の支払額	△231,775	△15,852
営業活動によるキャッシュ・フロー	768,386	2,000,751
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券の売却による収入	—	14,472
有形固定資産の取得による支出	△512,565	△1,329,797
有形固定資産の売却による収入	48	—
無形固定資産の取得による支出	△2,478	△11,060
投資有価証券の取得による支出	△208	△208
貸付けによる支出	△1,998	—
貸付金の回収による収入	988	1,016
敷金及び保証金の差入による支出	△7,673	△576
敷金及び保証金の回収による収入	20,761	156
事業譲渡による収入	150,480	—
その他	△992	△388
投資活動によるキャッシュ・フロー	△353,637	△1,326,384

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	312,450	668,660
長期借入れによる収入	4,333	—
長期借入金の返済による支出	△576,867	△577,751
配当金の支払額	△292,818	△294,329
自己株式の取得による支出	—	△23
リース債務の返済による支出	△255,873	△231,417
財務活動によるキャッシュ・フロー	△808,775	△434,861
現金及び現金同等物に係る換算差額	27,173	△6,807
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△366,853	232,697
現金及び現金同等物の期首残高	3,877,923	4,938,720
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,511,070	5,171,418

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		その他(注)	合計
	コンタクトレンズ・ケア用品	計		
売上高				
外部顧客への売上高	7,537,862	7,537,862	31,776	7,569,639
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	7,537,862	7,537,862	31,776	7,569,639
セグメント利益又は損失(△)	623,024	623,024	△5,165	617,859

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれないセグメントであり、眼鏡及び眼内レンズ等を含んでおりません。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	623,024
「その他」の区分の損失(△)	△5,165
セグメント間取引消去	—
全社費用(注)	△265,532
四半期連結損益計算書の営業利益	352,326

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社の総務部や経理部、情報システム部等の管理部門に係る費用であります。

## Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年6月30日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		その他（注）	合計
	コンタクトレンズ・ケア用品	計		
売上高				
外部顧客への売上高	7,921,794	7,921,794	31,050	7,952,844
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	7,921,794	7,921,794	31,050	7,952,844
セグメント利益又は損失（△）	925,649	925,649	△2,783	922,865

（注）「その他」の区分は、報告セグメントに含まれないセグメントであり、眼鏡及び眼内レンズ等を含んでおりません。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	925,649
「その他」の区分の損失（△）	△2,783
セグメント間取引消去	—
全社費用（注）	△272,475
四半期連結損益計算書の営業利益	650,390

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社の総務部や経理部、情報システム部等の管理部門に係る費用であります。

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。